

2015年

安全報告書



わたらせ渓谷鐵道株式会社

1. お客様をはじめ、地域の皆様へ

全国的な傾向として、鉄道事業者が特色ある豪華イベント列車を走らせたり、沿線地域と連携して列車を利用した様々な企画をし、鉄道を移動手段として利用することだけにとどまらず、列車に乗りすることが観光であるという捉え方で誘客を図り、交流人口を増加させようという取り組みが顕著になっています。わたらせ渓谷鐵道においても、地域の公共交通としての役割を基軸に据え、定期外利用者の増強に向けて、トロッコ列車や鉄道施設等の有効活用をするとともに、引き続き各種ツアーやイベント事業など積極的に行い、沿線地域の活性化につながるよう取り組んでまいりました。

さて、安全対策については、老朽化が目立つ車両及び線路設備・施設の維持管理に意を払い、日常の点検を着実にを行うとともに安全管理に万全を期しています。また、社内で年3回の事故防止検討会及び2ヶ月毎に管理職会議を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱い等について意見交換や研修を引き続き行ってまいります。

設備投資については、27年度は軌道土木定期検査、軌道検測車による検査結果を受けての全般的な軌道整備、草木トンネル内の沿線電話整備、落石防護設備整備、橋りょう補強、レールの重軌条化、PC化を含むマクラギ交換、線路側溝改良、下新田駅他構内設備の改修、車両の重要部検査等を実施しました。さらに、定期的に支障木伐採を実施し、景観の保持と共にこれらの様々な整備により一層の安全運行の確保が期待できます。

今後も、お客様に安心してご利用していただけるよう、経営トップを中心に社員一人一人が力を合わせ、それぞれの責務を認識し、事故防止活動に取り組むとともに、公共交通機関としての使命を果たしてまいりますので、引き続き皆様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

わたらせ渓谷鐵道株式会社
代表取締役社長 榑 澤 豊

2. 安全に関する基本方針

(1) 基本方針

輸送の安全確保を図ることは、鉄道事業に携わる当社にとって重要な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識のもとに当社は、「安全で安心した輸送」を最重点項目とし、法令遵守と、危機管理体制を強化し、更なる安全性の向上を図るとともに、「連携と実績で果たす安全安定輸送」を事故防止活動のスローガンに、社長以下全社員で取り組んでまいります。

(2) 安全目標

運転事故など大きな事故はもちろん、お客様にご迷惑をおかけする輸送障害についても、最大限防止することを目標とします。

(3) 重点実施項目

- ・ 事故防止管理体制の確立
- ・ 責任ある作業体制の強化
- ・ 車両、設備の故障防止
- ・ 教育訓練の充実

◆ 安全管理体制の確立

社長の強力なリーダーシップのもとに、機動性のある安全管理体制の確立を目指します。そのため、各部門が行う事故防止活動の具体的な実施計画を立て、その状況を点検しながら推進し、定期的を開催する事故防止検討会や、各部門の日常の業務においてもそれぞれの社員が問題意識を共有し、現場にフィードバックする体制を構築してまいります。

◆ 車両、設備の故障防止

使用状態に応じた保守管理の強化を図るとともに、更新、修繕、重要部品の計画的取替を推進し、信頼性の向上を図る。

◆ 自主的な事故防止活動の推進

春・秋の全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検にあわせ事故防止検討会を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱等について意見交換や研修を行い、自主的な事故防止活動を積極的に推進します。

<事故防止検討会>



3. 輸送の安全を確保するための取り組み

知識・機能教育を引き続き実施して技術力の強化を図るとともに、突発的な事故等異常時の取扱い、実技訓練を充実して実践力の向上を図ります。また、年度ごとに訓練項目を定め、本線、車両、施設を使用して関係機関とも連携しながら、全社員規模で参加する実設訓練を実施します。

27年度は当社で初めて設置となるAEDを大間々駅待合室設置に伴い、桐生市消防本部指導による普通救命講習、福祉施設アドバイザーによる介助技術研修を全社員が受講しました。また、JR東日本高崎支社主催の総合復旧訓練にも参加しました。

< 普通救命講習・介助者技術研修 >



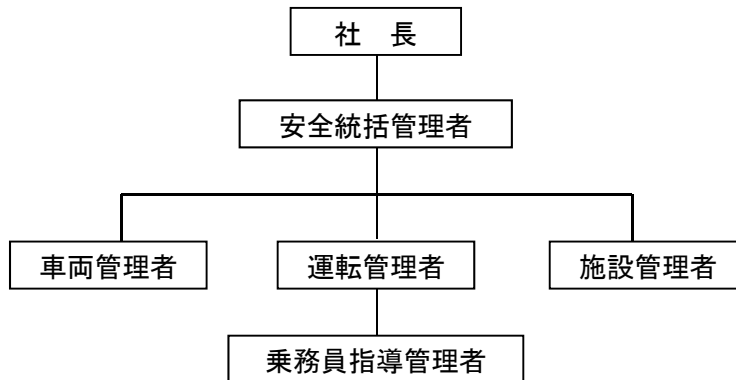
< J R 高崎支社総合復旧訓練 >



4. 当社の安全管理体制

安全管理規程を制定して、社長をトップとした安全組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	運転に関する事項を統括する。
施設管理者	軌道・施設に関する事項を統括する。
車両管理者	車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。



5. 運転事故・輸送障害の発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害（列車が30分以上遅れたもの）	
	衝突・脱線・踏切事故	設備・車両等の故障	雨などの自然災害
23	0	4	6
24	0	4	4
25	0	11	6
26	0	4	5
27	0	2	7

平成27年度の運転事故及び輸送障害の発生状況について、運転事故の発生はなく、輸送障害については設備車両等の故障は減少し、台風等の影響により自然災害による輸送障害は増加しましたが、総数としては前年と同じ発生件数となりました。

6. 安全対策実施状況

項目	施行箇所
【線路施設】 防護設備	落石防止防護ネット新設 法面固定（モルタル吹付） "（格子枠モルタル吹付）
レールの重軌条化	運動公園～大間々間 50N重軌条化
橋りょう	橋鋼桁補強
保安通信設備	沿線電話改良（草木トンネル）

<レール重軌条化工事>



7. 安全報告書へのご意見に対す連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

群馬県みどり市大間々町大間々1603-1

わたらせ渓谷鐵道株式会社

TEL:0277-73-2110/FAX:0277-73-3121

URL <http://www.watetsu.com>/E-mail: watetsu@sufield.ne.jp